



環境かわら版

2026年3月号(第358号)



あいち環境イノベーションコンソーシアム
総会及び交流会を開催しました(P2)



(株)名古屋グランパスエイトと連携協定を締結しました(P4)



「2026 愛知環境賞」の表彰式を行いました(P5)



モゾゾ キョッコロ
あいち SDGs アンバサダー ©GISPRI

愛知県は「SDGs 未来都市」として、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組を推進しています。県の環境に対する取組は、環境局 Web ページ「あいちの環境」で紹介しています。



「あいちの環境」(<https://www.pref.aichi.jp/site/kankyo/>)





「もりの学舎(まなびや)まつり」を実施します



愛・地球博記念公園内の環境学習施設「もりの学舎」では、名古屋キワニスクラブの協賛により、「もりの学舎まつり」を開催します。

キッズインタープリター（小学校4～6年生）による自然体感プログラム「キッズインタープリターデビュー」や、森に隠された生きものを見つける「いきものみっけの森」、草花遊びなどをしながら森でくつろぐ「森のハンモック」を実施します。

また、「キッズインタープリターデビュー」又は「いきものみっけの森」に参加された方には、素敵な記念品をプレゼントします。

参加費は無料です。ご参加をお待ちしています。



昨年度の様子



記念品の一例（昆虫消しゴム）

1 日時

3月22日（日）11:00～15:00

2 内容

(1) キッズインタープリターデビュー（事前申込制）

1回 25～30分程度の自然体感プログラムです。

- ・集めて楽しい葉っぱ（自然体感ツアー）
- ・回して楽しい見て嬉しい自然ぶんぶんごま（工作体験）

・森からのおくりもの（工作体験）

・葉っぱボールでドッジボール（自然遊び体験）

(2) いきものみっけの森（当日受付）

(3) 森のハンモック（当日受付）

詳細はWebページをご覧ください。



環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208（ダイヤルイン）



あいち
環境イノベーション
コンソーシアム
Aichi environmental innovation consortium

あいち環境イノベーションコンソーシアム 総会及び交流会を開催しました



愛知県では、環境課題の解決に向けて、愛知発の環境イノベーションを創出・実装するため、産学官金で構成される「あいち環境イノベーションコンソーシアム」を推進母体として、スタートアップ等による革新的プロジェクトの伴走支援や実証実験を推進しています。

このコンソーシアムの会員である企業、大学、行政、スタートアップ等の連携をより一層強化するため、2月17日にコンソーシアム会員が一堂に会する「総会及び交流会」を開催しました。

当日は、2025年度に採択したスタートアップである(株)バイウィル、(株)Aladdin、(株)クロスイー、(株)フレンドマイクロブより、現在取り組んでいるプロジェクトについてご発表いただきました。

また、栗田工業(株) イノベーション本部の小林秀樹氏をお招きし、「大企業×スタートアップで切り

拓く！ 脱炭素イノベーションの最前線と GX 新規事業のリアル」をテーマとして、スタートアップとの先進的な共創事例をご紹介いただきました。

その後の名刺交換を兼ねた交流会では、コンソーシアム会員同士が積極的な情報交換を行い、新たな連携やビジネスチャンスを探るなど、今後の展開につながる有意義な場となりました。

今後も地域一体となって環境イノベーションの創出・実装を推進していきます。

コンソーシアムの詳細はWebページをご覧ください。



(<https://env-innovation.pref.aichi.jp/consortium>)
環境政策課 環境イノベーション推進グループ
電話 052-954-6982（ダイヤルイン）



総会の様子



「AEL(あえる)ネット環境学習

スタンプラリー」を開催しました



県民の皆さんに楽しく環境について学んでいただくため、愛知県環境学習施設等連絡協議会(略称:AEL ネット)に加盟する168の環境学習施設等が連携し、2025年6月20日から2026年2月23日まで「AEL ネット環境学習スタンプラリー」を開催しました。

このスタンプラリーは、環境学習施設等への来館や環境をテーマとした講座・イベントへの参加によりスタンプを集めるもので、スタンプを3個以上集めてご応募いただいた方の中から、抽選で図書カード等の記念品をプレゼントしています。

AEL ネット環境学習スタンプラリー対象講座の様子



八穂クリーンセンター
「布ぞうり作り教室」



東浦町
「明徳寺川の生き物に会おう」

スタンプラリーには多くの方にご参加いただき、記念品の抽選には、1,000件を超える応募がありました。参加者からは、「スタンプラリーがないと訪れることのない施設もあり、そういったところで新たな発見があったりするので楽しい」「どの講座もとても楽しく、子どもたちも環境に興味を持つことができた」「エコについて考える時間ができてよかった」などの感想が寄せられました。

来年度も、6月頃から開催する予定です。是非ご参加ください。

(<https://ael-net.pref.aichi.jp/stamprally/main>)



AEL ネット環境学習スタンプラリー

検索

環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)

水質事故の未然防止にご協力をお願いします



工場・事業場で使用・保管している油や有害物質が、公共用水域(河川や海など)に流出する水質事故は、年度始めの人事異動により不慣れな作業を行う場合や、その後の梅雨期及び台風期に発生するリスクが高まります。

全国的にも、豪雨や台風により河川が氾濫し、油などが流出する水質事故が度々発生しています。

水質事故を未然に防止し、事故発生時の影響を最小限に抑えるためには、事前の対策及び事故発生時の速やかな対応が重要です。施設の日常点検や工場内の清掃など、できることから取り組みましょう。

<事前の対策例>

- ・流出防止設備(防液堤など)の設置
- ・排水処理施設や油等貯蔵施設の点検
- ・工場内の排水溝や油水分離槽の清掃

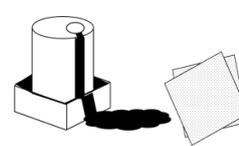
- ・拡散防止機材(土のう、吸着マットなど)の準備
- ・対応マニュアルの作成
- ・訓練の実施

<事故発生時の対応>

- ・流出停止措置
- ・拡散防止措置



例: 配管の閉鎖



例: 吸着マットによる回収

- ・関係機関(市町村、県民事務所等)への連絡

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/0005.html>)



愛知県 水質事故未然防止対策

検索

水大気環境課 水・土壌規制グループ
電話 052-954-6222 (ダイヤルイン)

(株)名古屋グランパスエイトと連携協定を締結しました



愛知県では、1月26日に地元の人気スポーツチームである(株)名古屋グランパスエイトと「気候変動に対する取組に関する連携協定」を締結しました。

<連携協定概要>

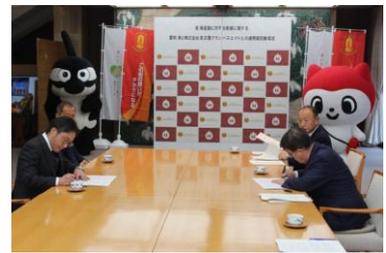
【目的】 県とグランパスが連携して県民への普及啓発を始めとした気候変動に対する取組を実施することを通じて、現在及び将来の県民の健康で文化的な生活の確保に寄与すること

【連携事項】

- ・気候変動に関する県民向けの普及啓発
- ・その他、気候変動に対する取組の推進

県公館で実施した協定締結式では、知事とグランパスの清水克洋社長しみずかつひろによる協定書への署名が行われ、「グランパスくん」と県熱中症対策啓発キャラクター「すずみーな」も同席し、その様子を見守りました。

気候変動は私達の日常生活だけでなく、スポーツの分野においても大きな影響を及ぼしており、グランパスもサポーターへの啓発など、気候変動対策に関する取組を積極的に進めています。



協定締結式の様子

今回の協定に基づいて、今後は気候変動をテーマとしたワークショップの開催や共同ブース出展など、様々な連携事業を実施していく予定です。

今後の県とグランパスのコラボレーションを是非楽しみにしてください。

地球温暖化対策課 調整・企画グループ
電話 052-954-6213 (ダイヤルイン)

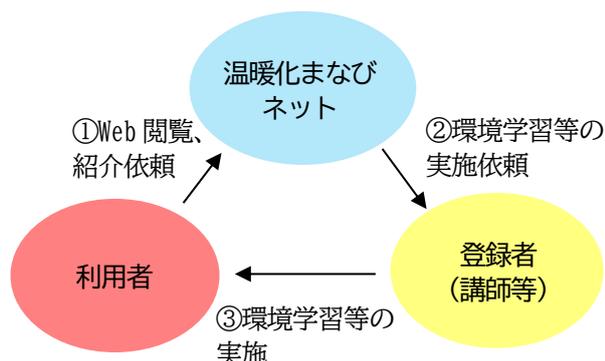
温暖化まなびネットに登録する講師、指導者等を募集しています



愛知県では、県民の皆さんの地球温暖化対策活動を支援するため、様々なテーマに合わせた講師や指導者等の情報を掲載・紹介する「あいち地球温暖化対策人材登録・紹介ネット(温暖化まなびネット)」を開設しています。

地球温暖化対策に関する講師や指導者等として県内で活動していただける方(個人・事業者・団体等)を随時募集していますので、是非ご応募ください。

【温暖化まなびネットとは】



1 応募方法

Web ページから登録申請書をダウンロードし、メール又は郵送で提出してください。(宛先は下記 Web ページを参照)

2 登録の流れ

活動実績などを審査の上、講師として登録します。詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/onmananet-bosyuu.html>)



温暖化まなびネット

検索

地球温暖化対策課 調整・企画グループ
電話 052-954-6213 (ダイヤルイン)

「2026 愛知環境賞」の表彰式を行いました



愛知県では、2005年の愛知万博を契機に、企業、団体などが行う先駆的で効果的な<技術・事業><活動・教育>の事例を「愛知環境賞」として表彰しています。



22回目となる今回は、サーキュラーエコノミーやカーボンニュートラルに関する取組など、37件の応募の中から、金賞を受賞した東邦ガス(株)の「都市ガスのカーボンニュートラル化に向けた国内初のe-メタン活用」を始め14件の受賞事例を決定しました。

2月17日にホテルメルパルク名古屋で開催した表彰式では、知事、環境パートナーシップ・CLUBの勝野哲^{さとし}会長(中部電力(株)代表取締役会長)、中日新聞社の池口真美^{まみ}事業局事業統括部地域貢献課長、名古屋市の真鍋孝^{たかあき}顕^{あき}経済局担当部長から各受賞者に対して表彰状と楯が授与されました。



「金賞」の東邦ガス(株)

2026 愛知環境賞 受賞事例一覧

賞の種類	受賞事例	受賞者
金賞	都市ガスのカーボンニュートラル化に向けた国内初のe-メタン活用	東邦ガス(株)
銀賞	自動車外装樹脂部品の射出成形機金型内での新しい塗膜形成技術の開発	内浜化成(株)
銅賞	地域の川と生き物を対象として数値化によるPDCAを行い楽しく学ぶ地域協働での河川活動とESD	(株)豊田自動織機 愛三工業(株) 至学館大学 知多自然観察会
中日新聞社賞	楽しさで加速する行動変容 ―ゴミ拾いは地球を救う―	ABK朝美活
名古屋市長賞	高品質と環境配慮を両立した日本唯一の一貫生産モデルの構築	御幸毛織(株)
優秀賞	世界初、廃棄ヤシ殻を原料とするコークスを用いたCO ₂ 削減事業によるカーボンニュートラルへの貢献	アイシン高丘(株)
	資源循環・経済性・地域貢献を実現する持続可能な食品ロス削減の仕組みアオキスーパーモデル「ハビタベ」	(株)アオキスーパー (株)ミライデザイン GX
	再生困難な熱硬化性樹脂及び熱可塑性低硬度エラストマーの独自技術によるマテリアルリサイクル	(株)グランツ
	世界初！医薬品包装PTPシート「ClearE-Sheet®」の生産技術によるプラスチック含有廃棄物の大幅削減	CKD(株)
	無理なく安心して継続的にペットフードロス削減と動物愛護に貢献する動物版フードバンクエコシステムの構築	Terminal
	アップサイクル型粘土瓦「スマート純いぶし」の製造によるロス率の削減	(株)鶴弥 創嘉瓦工業(株)
	竹を厄介者から貴重な資源に～竹林所有者・伐採事業者・社会問題解決が全て満足する日本初の事業モデル～	(株)豊竹
	私たちの未来のために楽しみながらSDGsを地域に広げる環境活動	プロジェクト sky
日本初の多量×高精度を実現するエネルギー自立型混合廃棄物選別システム	(株)毎日商会	

詳細は愛知環境賞のWebページをご覧ください。
(<https://aichi-shigen-junkan.jp/kankyoushou/>)



資源循環推進課 循環グループ
電話 052-954-6233 (ダイヤルイン)

○ 事業活動への気候変動影響の拡がり

気候変動は、民間企業の事業活動に多方面で影響を及ぼしており、地球温暖化の進行によってその影響は、今後さらに拡大すると懸念されています。

こうした状況から、民間企業においても気候変動への適応は、喫緊の課題となっています。



気候変動による企業の事業活動への影響
 (「改訂版 民間企業の気候変動適応ガイドー気候リスクに備え、勝ち残るためにー」(環境省)より抜粋)
 *<https://www.env.go.jp/content/900442437.pdf>

○ 気候変動適応の進め方

環境省では、民間企業の経営及び実務に関わる皆さんに、気候変動適応の取組を進める際の参考としていただくため、「民間企業の気候変動適応ガイドー気候リスクに備え、勝ち残るためにー」を公表しています。ガイドでは、気候変動適応の進め方にルールはないが、民間企業が実際に取り組む際には、次の「基本的な進め方」を参考にしつつ、それぞれの企業の特性に即した取組を進めることが重要だとしています。

【気候変動適応の基本的な進め方】

- ① 最初に行うこと
 気候変動適応に取り組む目的・対象範囲・実施体制の明確化、時間フレームの検討、取り組みの早い段階からの経営者(経営層)の巻き込み
- ② 気候変動による影響を整理する
 過去の影響等の整理、将来の情報入手、想定影響のリストアップ、対応策の実態整理
- ③ 優先課題を特定する
 リスク顕在化の可能性、影響の大きさや早期対応の経営上のメリットなどから優先課題を特定
- ④ 適応策を選定し実行する
 適応策を選定し、計画的に実施
- ⑤ 進捗状況の確認と見直し
 計画された適応策の定期的な進捗状況とその効果の確認・見直し、新たな予測情報に基づく見直し

気候変動適応は、必ずしも大掛かりな取組を必要とするものではありません。自社の事業活動における気候変動影響をしっかりと分析し、それぞれの特性に応じた取組を進めることで、経済的かつ効果的に気候変動適応を進めることが可能となります。

気候変動適応に戦略的に取り組むことは、事業の持続可能性を高める上で必要不可欠です。ご紹介したガイドを参考に取組んでみてください。

愛知県気候変動適応センター
 (環境調査センター 企画情報部)
 電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)

※掲載のイベントや講習会等は、天候の影響等により、内容を変更又は中止する場合があります。

愛知県環境情報紙「環境かわら版」(第358号)
 発行日 2026年3月2日
 編集・発行 愛知県環境調査センター 企画情報部
 所在地 〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6
 電話 052-910-5486(ダイヤルイン)
 URL <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>
 (今月号とバックナンバーを掲載しています。)

掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。